

呼吸器内科

概要

部長：富井 啓介

スタッフ：7名（うち1名神戸平成病院出向、1名任期付採用）

専攻医：5名

日本呼吸器学会教育研修認定施設、日本呼吸器内視鏡学会研修認定施設、
日本臨床腫瘍学会認定施設

特徴

“気管支炎から肺癌まで”呼吸器疾患全般について up-to-date な方法での診断と治療をめざし、しかも常にオーソドックスに対処する姿勢を保って医療にあたるというのが当科の変わらぬ基本スタンスです。あらゆる呼吸器疾患の診療が可能ですが、入院患者は肺癌などの悪性疾患や肺炎、COPD、間質性肺炎などに伴う呼吸不全が多く、外来患者は喘息、COPD、間質性肺炎が多いです。どんな疾患や患者にも真摯に対応し、オーソライズされた診療を行うように心がけ、それによって生じた問題を解決すべく臨床研究をも欠かさないように努めています。また、スタッフは呼吸器学会・呼吸器内視鏡学会・アレルギー学会などの指導医・専門医の資格を持っており、将来の医療を担う若い医師達の専門医への道をサポートします。学会・研究会への発表（論文執筆）も盛んです。患者に優しく、コメディカルと協力し、同僚には厳しく、というのが当科のモットーです。

一般目標

初期研修修了をふまえ、呼吸器学会認定医・専門医制度に合致した内容のカリキュラムをもって専門知識・技術習得の修練を行い、呼吸器内科専門医としての診療・研究能力を身につけます。

行動目標

- 1年目：**
- 最初の4ヶ月で呼吸器内科医としての基本をマスターします。特に問診および診察：環境・喫煙歴・住居歴・粉塵曝露歴・アレルギー歴を聞き出すことが呼吸器疾患診療上の重要なポイントとなることを知ってこれを体得します。また診察においては口腔・胸郭の視診にはじまり、表在リンパ節の触診、胸部の打診、心肺の聴診を正しい手技で行ってこれに習熟します。
 - 考えられる治療法の中から患者の状況に応じた最適の治療を決定します。治療計画をたて、実行し、その効果の評価もできるようにします。特に薬物療法については副作用も含めて患者に指導・説明でき、外科療法・放射線療法についても判断できるようにします。

3. XP・CTを多数読影しカンファレンスで検討します。PET読影も行います。
4. 気管支鏡：複数の Drs とともに週3回の気管支鏡検査を行い、これに習熟し、将来の呼吸器内視鏡認定医申請を視野におきます。
5. 生検：気管支鏡下、経皮エコー下ならびに CT 下生検の適応、合併症を習熟し手技に関われるようにします。
6. 呼吸ケアチーム（RST）に参加し、人工呼吸管理に習熟します。
7. 5ヶ月目以降は当院内科系他科をローテートし、内科専門医取得のための症例経験数を積みます。

- 2年目：**
1. 外部連携先で内科専門医取得のために必要な症例経験数を積みます。
 2. 連携先との調整により、連携先呼吸器内科で気管支鏡、CT下生検などの検査手技の経験数を増やします。
 3. 神戸平成病院へ3ヶ月間派遣し、主として当院から転院した患者について急性期から慢性期、在宅療養へつながる患者診療を担当します。当院での研修で不足気味なりハビリテーションの理解と実施、全人的医療への関わりを経験します。

- 3年目：**
1. 臨床呼吸機能講習会に参加し、肺機能検査のより高度な理解を得てこれに習熟します。

- 4年目：
(4年コースの場合)**
2. 神戸平成病院へ1~3ヶ月間派遣し、主として当院から転院した患者について急性期から慢性期、在宅療養へつながる患者診療を担当します。当院での研修で不足気味なりハビリテーションの理解と実施、全人的医療への関わりを経験します。
 3. 希望により、他科、他施設へ一定期間、留学可能です。
 4. 以下の疾患の診療に専門家として対処できるようになっていることを確認します。

- ・呼吸器感染症（結核以外）
- ・肺結核・非結核抗酸菌症
- ・気管支喘息・気管支肺アレルギー疾患
- ・COPD
- ・びまん性肺疾患
- ・呼吸不全
- ・肺腫瘍
- ・肺肉芽腫性疾患
- ・自然気胸
- ・胸膜炎・膿胸・胸膜中皮腫
- ・縦隔病変
- ・睡眠呼吸障害

5. 臨床研究に参加、治験業務に参加します。
6. 専門学会で発表します。

週間スケジュール

開始時間	月	火	水	木	金
8:00	救急病棟回診		肺癌合同 カンファレンス		
8:30		救急病棟回診	救急病棟回診	救急病棟回診	救急病棟回診
9:30	気管支鏡検査		気管支鏡検査	救急病棟回診	救急病棟回診
10:30				部長病棟回診	部長病棟回診
11:00					
13:30					気管支鏡検査
16:00		CTガイド下生検		CTガイド下生検	気管支鏡
17:00	RST 回診	肺癌化学療法	勉強会	呼内	カンファレンス
17:30		カンファレンス		カンファレンス	

入院患者集計

2015年			
入院総数		1,611人	
	疾患	患者数	割合
1	肺がん	721	44.8%
2	肺炎	251	15.6%
3	間質性肺炎	139	8.6%
4	COPD	79	4.9%
5	喘息	64	4.0%
6	気胸	52	3.2%
7	睡眠呼吸障害	43	2.7%
8	その他	28	1.7%
9	喀血	28	1.7%
10	慢性呼吸不全	26	1.6%
11	縦隔腫瘍	24	1.5%
12	胸膜中皮腫	23	1.4%
13	胸膜炎	20	1.2%
14	膿胸	17	1.1%
15	結核・AM症	11	0.7%

2016年			
入院総数		1,738人	
	疾患	患者数	割合
1	肺がん	784	45.1%
2	肺炎	302	17.4%
3	間質性肺炎	159	9.1%
4	COPD	86	4.9%
5	慢性呼吸不全	52	3.0%
6	喘息	48	2.8%
7	気胸	43	2.5%
8	その他	37	2.1%
9	喀血	37	2.1%
10	睡眠呼吸障害	33	1.9%
11	縦隔腫瘍	27	1.6%
12	胸膜炎	22	1.3%
13	転移性肺腫瘍	14	0.8%
14	結核・AM症	12	0.7%
15	膿胸	12	0.7%

当科の実績（主要学会発表、論文）

学会発表数		2012	2013	2014	2015	2016
国際学会	ATS（米国呼吸器学会）	1	0	0	0	0
	ERS（欧州呼吸器学会）	1	1	1	1	2
	APSR（アジア太平洋呼吸器学会）	2	0	1	0	0
	ASCO（米国臨床腫瘍学会）	1	0	0	0	0
	ESMO（欧州癌治療学会）	0	0	0	0	0
国内学会総会	日本呼吸器学会	9	8	12	8	12
	日本アレルギー学会	4	3	1	3	2
	日本肺癌学会	5	5	5	5	9
	日本呼吸器内視鏡学会	1	1	2	1	0
	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	2	2	3	2	2
	日本感染症学会	2	1	0	1	0
	日本内科学会	0	0	1	0	0
	日本臨床腫瘍学会	0	0	3	0	0
	日本癌治療学会	0	0	0	0	0
国内地方会	日本呼吸器学会	20	18	17	18	16
	日本肺癌学会	5	8	7	8	6
	日本内科学会	0	2	0	2	0
論文数	英文誌	10	15	12	15	13
	国内学会誌	0	3	6	3	2
	国内商業誌	4	3	5	3	2

専門研修プログラム

神戸市立医療センター中央市民病院内科専門研修プログラムは、当院ホームページをご参照ください。

URL：http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident

見学等問い合わせ先

富井 啓介：ktomii@kcho.jp